

レグラス オーバーフローセット

KOTOBUKI 取扱説明書

この取扱説明書は、大切に保管してください。

このたびは当社製品をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本書では、当社製品をご使用になる人や、他人への危害、財産への損害を未然に
防止するために、必ず守っていただきたいことを、次のように説明しています。

安全にお使いいただくために

必ずお読みください。

■ご使用の際には、次のことを守ってください。

警告

●本製品は、物を当てたり、叩いたり、乱暴に扱ったりしないでください。
割れたり、変形して水漏れをおこす原因になります。

注意

●風通しが悪く、水槽周辺が極端な温度差になる場所や、直射日光が当たる所には設置しないでください。
周辺温度が10～30℃範囲内で、ほぼ一定の温度が保てる場所に設置してください。
●お手入れの際には、シンナーや洗剤などの薬品は使用しないでください。
●毎日、パイプの取り付け状態が正常か確認してください。給水パイプやオーバーフローパイプが外れると水槽の水がろ過槽に落ち、ろ過槽から水が溢れます。特に大型魚などを飼育される場合は、注意してください。
●お手入れの際などにポンプの作動を止めた場合や停電時は、水槽の水位がオーバーフローパイプ上部まで下がり、水がろ過槽に落ちますので、ろ過槽の水位は、その水量を見越した水量にしてください。

オゾン発生装置や直接照射タイプの殺菌灯などを使用されるとゴム・樹脂パーツを著しく劣化させますのでご注意ください。

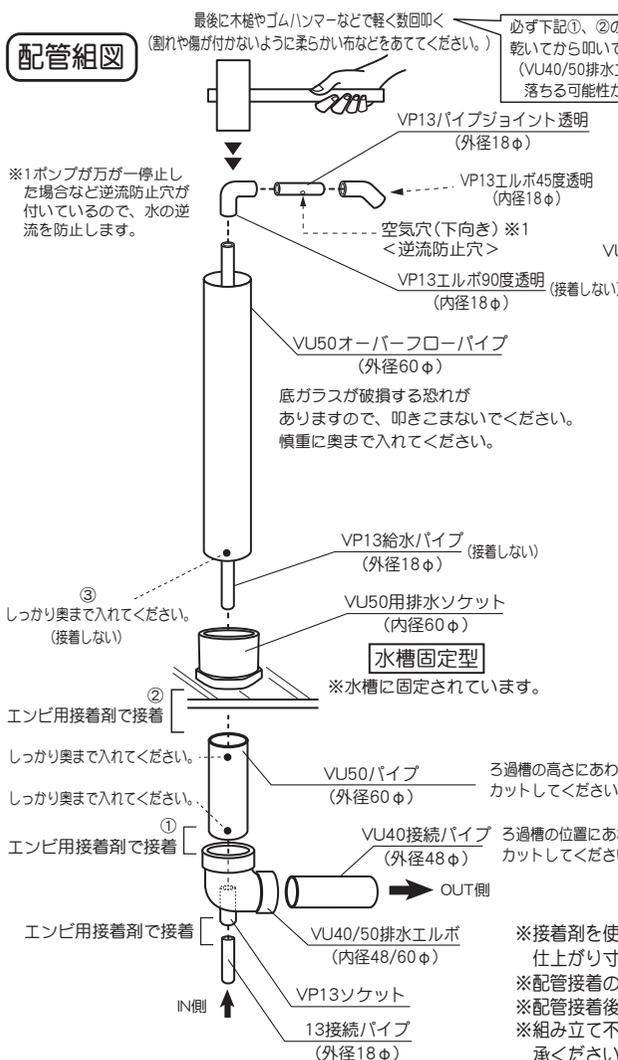
組み立て方

※本製品を組み立てられる前に、必ず別紙レグラス水槽の取扱説明書も良くお読みください。
●組み立てる前に、必ず水槽及び付属パーツに破損がないかご確認ください。

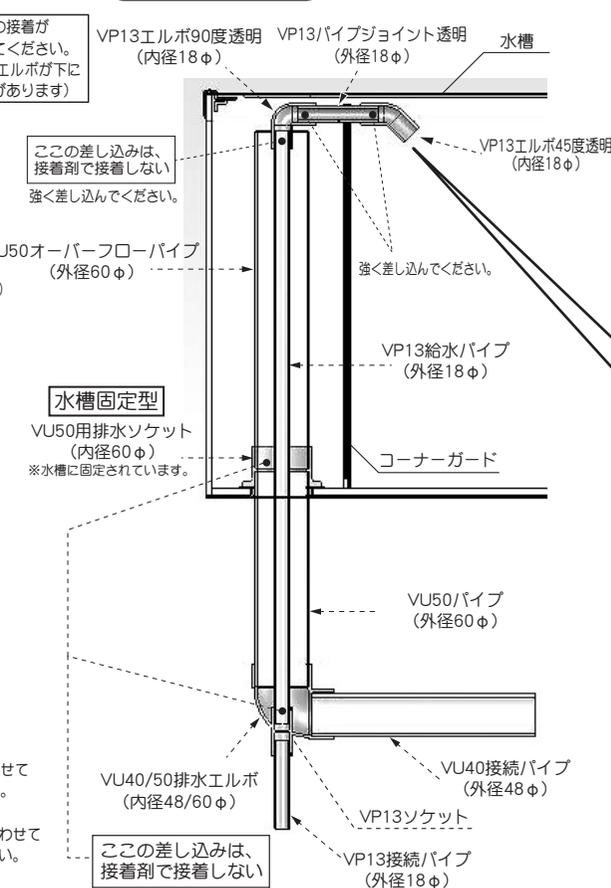
※下記、オーバーフローパイプの組み立ての前に、本紙裏面の図のように水槽の下にウレタンマットをセットしてください。

1 オーバーフローパイプの組み立て

配管組図

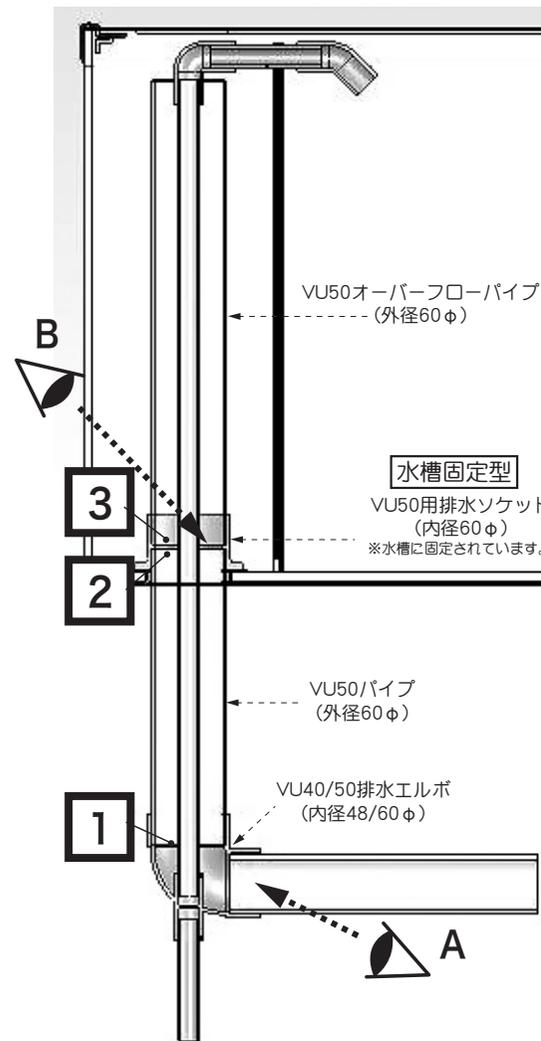


配管断面図



※接着剤を使うが使わないかで差し込みの深さが変わったり、また差し込む力により配管の
仕上がり寸法が異なります。
※配管接着の前に必ず仮組みをし寸法の確認を行ってください。
※配管接着後、各接続部分から水漏れがないかご確認ください。
※組み立て不良、接着不良による損害はいかなる場合も弊社は責任を負いかねますのでご
承承ください。

組み立てのポイント

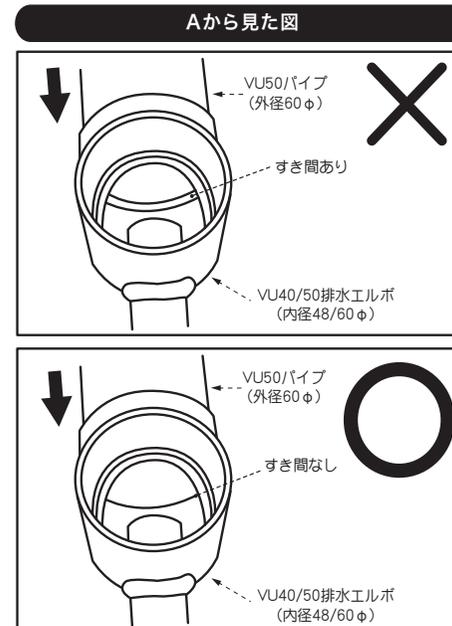


底ガラスのオーバーフローの穴位置の公差や
コーナーガードのスリットの穴位置の公差に
より、VP13パイプジョイント透明がコー
ナーガードに対してまっすぐにならない場合
がありますがご了承ください。
吐出方向については、VP13エルボ45度透明
の角度で調節ください。

●VU40/50排水エルボ、VU50用排水ソケット、VU50パイプ、VU50オーバーフロー
パイプは下記手順と記載内容をお守り頂き、組み立てを行ってください。
※配管接着の前に必ず仮組みをし寸法の確認を行ってください。

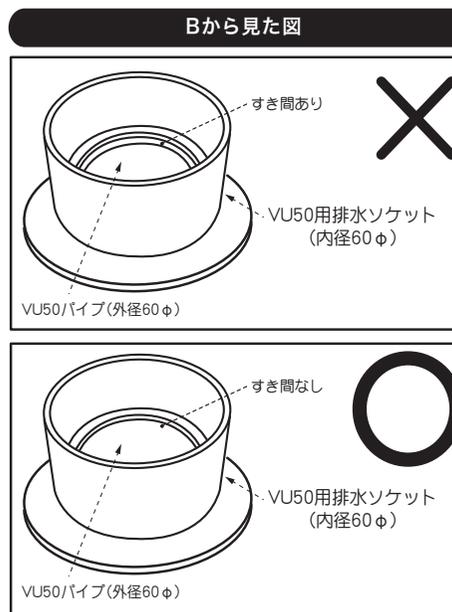
1 VU40/50排水エルボとVU50パイプの接続。

VU40/50排水エルボへVU50パイプを奥までしっかりと差し込んで
ください。(市販の塩ビ用接着剤を使用してください。)



2 VU50パイプとVU50用排水ソケットの接続。

VU40/50排水エルボを接続したVU50パイプをVU50用排水ソケット
の奥までしっかりと差し込んでください。
(市販の塩ビ用接着剤を使用してください。)



3 VU50用排水ソケットとVU50オーバーフローパイプの接続。

VU50オーバーフローパイプをVU50用排水ソケットの奥までしっかりと
差し込んでください。(接着はしない。)